

葛飾区公開保育を通じた学び合い等支援事業 事業活動実施報告書

施設名(住所)	うらら保育園（東京都葛飾区西新小岩3-37-27）						
実施内容	ECEQ®(公開保育を活用した幼児教育の質向上システム)						
各STEP実施履歴	STEP1	事前訪問	令和 7年 4月 22日(火)	16:00 ～ 16:30			
		事前訪問	令和 7年 10月 20日(月)	15:00 ～ 15:30			
	STEP2	事前研修	令和 7年 10月 20日(月)	15:30 ～ 17:00			
	STEP3	「問い」づくり	令和 7年 11月 11日(火)	15:00 ～ 16:30			
	STEP4	公開保育	令和 7年 12月 10日(水)	9:45 ～ 15:45			
	STEP5	事後研修	令和 7年 12月 22日(月)	15:00 ～ 17:00			
公開保育参加者数	11園 16名		(うち、区内の保育所8園12名、幼稚園3園4名、認定こども園0園0名)				
STEP1・2で確認した自園の良さ・課題	・施設内にある「アトリエ」をうまく使い切れていない ・ICTシステムを、活用できていない ・建物の環境は整っているが、保育室等の身近な環境が活用しきれていない ・職員同士の関係性がよく、経験や年齢、立場関係なく気軽に保育を語ることができる ・職員会議やミーティング等トップダウンではなく、ファシリテーションを用いながら、みんなで問題や事柄に向き合い考えていける風通りの良さをを感じる						
STEP3で完成した「問い」	<0、1歳児クラス> 【園庭環境】 ①裏庭や園庭の環境は十分でしたか。他に整えられる物的環境や遊びが広がっていく素材などがありましたら教えてください ②子ども達は満足して遊んでいましたか。遊んでいる姿を見て気付いたことがありましたら教えてください ③保育士がどのように関わったら、より遊びが広がっていくと思いますか。気が付いたことがありましたら教えてください 【室内環境】 ①室内に設定している玩具は、年齢や月齢に適していましたか。遊んでいる様子を見て、気付いたことがあれば教えてください ②設定している玩具の他に、より子ども達の発達や興味に合った玩具がありましたら教えてください <2歳児、3～5歳児クラス> 【室内環境】 ①TOY棚の玩具内容(種類、量等)は十分でしたか。また、より良い玩具の収納方法がありましたら教えてください ②製作物に関する道具(ハサミ、色鉛筆、紙等)の管理方法や子ども達の使いやすさはいかがでしたか。気が付いたことがありましたら教えてください ③作品を作ったあとの子ども達に保育士がどのような関わりをすると良いと思いますか 【アトリエ】 ①背の高い収納は、どのようにしたらより魅力的かつ安全に使えると思いますか 【園庭】 ①1～2歳児と3～5歳児と一緒に使う園庭で、それぞれの遊びが満たされる工夫はどのようにしたらいいと思いますか ②この広さの園庭でできる工夫は、他にどのようなことがありますか						

STEP4で気づいたこと、感じたこと、思ったこと	・物的環境に力を入れたいと思った ・いろいろな立場や環境の方から話を聞くことで学びにつながった。また、自分の言葉で保育を伝えることで自分の保育の振り返りにもなった ・子供の想いを大切にしようとしながらこだわりを持って保育をしている保育士集団 ・当たり前になっていることに対して、一つひとつ疑問を抱くようにしていきたい ・問いで立てた子ども達の姿と実際の子どもの姿が異なっていた。うららの環境は他園と違う。問いで聞きたかったことがなかなか伝わりにくかった。質問があり返答したが再び同じ質問があったため、保育の考え方、園の方針の違いでなかなか思いが伝わらなかった ・うららについて話す経験が少なかった気がする。今一度根拠を知ることが大切だなと感じた ・(うららは)やっぱり温かい、心地よい場所だと改めて思った ・他園では手作り玩具を提供している園が多かった。「うららで安心・安全に手作り玩具を出すには」を考えていきたい ・一人ひとりが保育に対して、子どもに対して、人に対して考え続けている職員集団だと思った ・子どもと一緒にその日をつくる、暮らしをつくる ・うららの良さに改めて気づいた。自園の職員の想いや考えも知ることが出来た ・改めて“外から見たうらら”を知ることが、大切にしたいこと、みんなで考えていきたいことが分かった ・うららの保育を語る経験をもっとしたい！！	   
STEP5で気づいたこと、感じたこと、思ったこと	●POINTの付箋の内容は、参加者がほぼ同じ内容のことを記入しており、改めてうららの大切さと職員一人ひとりの想いに気づくことでできた ●POINTよりもTRYの方が多く出ていたように感じ、今回のECEQを通して改めて考え直したいこと、確認したいこと、聞きたいことなどが多くあるということに気づいた ●TRYの想いがそれぞれに多く、より具体的であった。(以下一部内容) ・うららの自然を活かした遊びって？ ・うららで手作り玩具ってどんなことができる？ ・物質的環境の今後を考える ・玩具の内容の見直し ・うららの保育を深める(保育内容を話す、語り合う) ・うららの“良さ”について話す。深める ・うららの“大切にしていきたいこと”のすり合わせをする ・手足を清潔にする ・声かけのタイミングの工夫 ・自園の良さや課題点について改めて見つめ、今後どうしていくか話し合いたい ・“自由”について話し合いたい	
ECEQ®全体を通して気づいたこと、感じたこと、思ったこと	・自分の保育(自園の保育)を自分の言葉で伝えることの大切さ、重要性を感じた ・自分の中で悶々と自問自答していることを、改めて外部の人から言われ「やっぱりそうだったんだ」という気づきにもなった ・当日は緊張もあって言葉が出てこなかったが、その後も公開保育での問いをずっと考えていた。自分でアウトプットできたことで考えを整理することができた ・他者にうららのことを語る経験がこれまでなかったが、他者に自分の言葉で伝えたことで整理することができた ・他園では乳児のルースパーツを使って遊ぶことが多い。うららは「リスク」を重視している ・話を聞くだけでも保育が広がるヒントをもらった ・うららの良さを言語化することで自信になった - 例)「子ども達のやりたいことを尊重する保育」だと言われた →その裏にある“なぜ、それをするのか？”も含めて伝えた ・一緒に働いている人の意見も聞けて良かった ・質問に対して、答える・伝える経験が今までなかったことに気づいた。自分の言葉で伝えることが出来てよかった	